

令和5年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立海峰小学校

＜今年度の重点目標＞ 自分の考えをもち、伝え合い、学び合う子供の育成～協働的な学びを目指して～

前年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査や各種テスト等の結果から、着実に基礎・基本が定着してきている。家庭学習頑張り週間の実施やメディアコントロール週間とのタイアップ、国語会、算数会の実施、読書の推進等が学力向上につながった。今後も、個人へのきめ細やかな対応をしながら、読書の楽しみを味わうとともに、家庭学習を充実させ、読解力や語彙力の向上を目指す。 ・生活委員会が主体となり、ほかほか言葉週間や挨拶週間を学期ごとに行うことにより、明るい挨拶や気持ちのよい言葉遣いを意識することができた。また、定期的にオンライン集会や放送等を行い、全校に向けて挨拶やほかほか言葉のよさを発信した。今後も、児童が主体となって挨拶やほかほか言葉が広がるよう、活動を工夫していく。 ・メディアコントロール週間に合わせて、保健環境委員会を中心に、メディアをコントロールすることの大切さを伝えたり、メディア以外の楽しい過ごし方を提案したりすることで、メディアをコントロールしようと意識する児童が増えた。今後は、メディアコントロール週間でなくても、メディアの使い方に気を付けることができるように、メディア利用時間が多すぎる児童への個別指導を継続したり、家庭への働きかけを工夫したりする。 					
具体的な達成目標 (数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで家庭学習する児童が75%以上いる。(アンケート、自主学習ノート、家庭学習がんばりカード等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ほかほか言葉を進んで使うことができる児童が80%以上いる。(家庭用挨拶カード、児童アンケート、教員評価) 		<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を目指して、家族で決めたメディアルールを守る児童が85%以上いる。(メディアコントロールチャレンジ結果、自己評価、家族評価) 	
行動Ⅰ (方策)	<p>＜方策1＞ 児童が自分で自主学習の内容を選べるように内容を精選して提示することで、個に応じた内容の家庭学習に取り組むことができるようにする。</p> <p>＜方策2＞ 工夫が見られる自主学習ノートを学年便りや掲示等で紹介し、家庭学習への意欲を高める。</p>		<p>＜方策1＞ 生活委員会が中心となり、ミニ集会を開いたり、掲示物や放送で実践例を紹介したりすることで、ほかほか言葉のよさを実感できるようにする。</p> <p>＜方策2＞ 「校内ほかほか週間」や「海峰ほかほか週間」等を学期に1回設け、学校や家庭、地域で挨拶やほかほか言葉への意識付けを図る。</p>		<p>＜方策1＞ 「海峰小メディアルール」を基に、「家族メディアルール」を決め、学期に1回の「メディアコントロールチャレンジ」に家族と一緒に取り組めるようにする。</p> <p>＜方策2＞ 保健環境委員会が中心となり、メディアをコントロールした生活のよさやメディア以外の過ごし方の工夫を全校に発信し、意識付けを図る。</p>	
第1回学校評議員会 (アクションプランの取組状況)						
中間評価	＜方策1＞ <方策2＞		＜方策1＞ <方策2＞		＜方策1＞ <方策2＞	
評議員の意見	第2回学校評議員会 (中間評価報告)					
行動Ⅱ (方策と取組状況)						
評議員の意見	第3回学校評議員会 (年度末評価報告)					
年度末評価 (学校関係者評価を含む)	＜方策1＞ <方策2＞ <div style="text-align: center;">総合</div>		＜方策1＞ <方策2＞ <div style="text-align: center;">総合</div>		＜方策1＞ <方策2＞ <div style="text-align: center;">総合</div>	
次年度への課題						